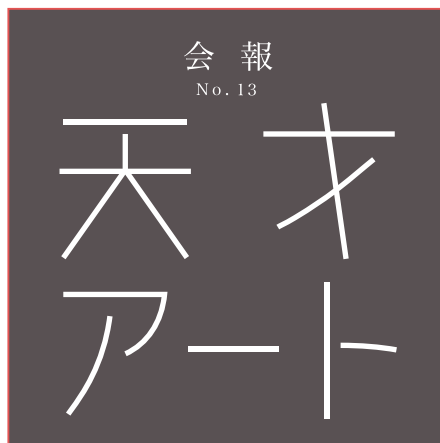




天才アートとは、障碍のある人の多くがもつ優れた感性と表現力、そこから湧き出る独創的なアート作品に対して、特定非営利活動法人 障害者芸術推進研究機構がネーミングしたものです。欧米ではアール・ブリュット、あるいはアウトサイダー・アートなどと呼ばれています。当機構は天才アートを推進し、その啓発活動を行っています。



発行日 2017年3月25日（土）

発行者 特定非営利活動法人
障害者芸術推進研究機構

天才アート KYOTO

発行所 〒605-0811
京都市東山区大和大路四条下る
4丁目小松町 四条・新道アトリエ
info@tensai-art.kyoto
http://tensai-art.kyoto

編集 株式会社 三六六

天才アート

検索



『鶏は恐竜の祖先だよ。謹んで食べなきゃ。宇宙華丸』前田笑弥 Wataru MAEDA 画用紙・マジックペン 380×270mm 2017年

天才アートKYOTO



展 覧 会

予 告

第3回天才アート企画展は 6月1日から開催します

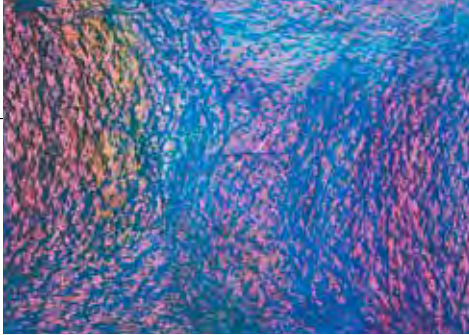
来る6月1日(木)～11日(日)、第3回天才アート企画展を堀川御池ギャラリーで開催します。

今回の展示企画テーマは「非形態の表象 Informel et Image」です。第1回のテーマは「8人の天才たち展」で、当機構の所属作家8名の作品を展示しました。第2回は「机の上で。展」として、日頃の制作アトリエの再現を想定して会場構成と展示を企画しました。

今回の「非形態の表象」は、次の3つの制作の特質に限定し展示します。①色彩だ



「うずまくグラデーション 2016.9.25①」足立茉莉



「クレパスのグラデーション 2016」川嶋誉大

ギャラリーのスペースは決して広くはありませんが、館内にはオシャレなインテリアショップやレストランが並び、隣接する『京都シネマ』ではマニアックな映画を上映するなど「天才アートKYOTO」にとつては、いまま

け、あるいは単純な図を繰り返すだけで形態を持たないもの。②決められた手作業の回復によって生じる身体性をもつ造形。③具体的な表現対象をもたず頭に浮かぶイメージや言葉を追いついていくシュールな世界。— 今回の出展者は限られますが、この3つは「障がいのある人の造形」にひろく共通してみられる制作の特質とされます。

COCON KARASUMA 3F (Kara-S) 2 「天才アート展」を開催

京都の中心地・烏丸四条にあるショッピングモール COCON KARASUMA の3階に「Kara-S」があります。ここは大学の情報発信を目的に京都精華大学が運営するサテライト施設で、ギャラリーとショップの2つのスペースで構成されています。

このギャラリーで、来る4月4日(火)から約2週間、「天才アート展」を開催することになりました。

ではない展示イベントの環境になります。この会場ではじめて天才アートの作品にふれた人たちの間で話題がひろがれば、「天才アートKYOTO」のいつその啓発につながるかと期待されます。

◎天才アート展

会場Ⅱ Kara-S (COCON KARASUMA 3F)

会期Ⅱ 4月4日(火)～同16日(日)

(月曜日は休み)

時間Ⅱ 11時～20時(最終日は18時まで)

《京都文化力プロジェクト 推進フォーラム》展示

フォーラムに協賛してロームシアターサウスホールで作品展示をします。

日時Ⅱ 4月26日(水) 13時～16時

会場Ⅱ ロームシアター京都サウスホール

内容Ⅱ 茂山千三郎による記念狂言◎リレー

対談…山極壽一(京都大学総長、プロジェクト)／佐々

木丞平(京都府立博物館長、プロジェクト)／茂山千三郎(狂言師)

／杉本節子(公助、奈良国立博物館長、プロジェクト)

◎近藤正臣(俳優)…トークステージ

◆事前申込制…3月31日まで・入場無料

◆問合せ先…京都文化力プロジェクト推進

フォーラム事務局

※「京都文化力プロジェクト」は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等を契機として、日本の文化首都・京都を舞台に行われる文化と芸術の祭典です。2020年までさまざまなイベントが企画されます。

<https://culture-project.kyoto>

天才アートKYOTOもプロジェクトに協賛します。

『いきいき春の文化祭アール・ブリュットとの出会い』開催

「文化庁京都移転・私たちができること推進チーム」が取り組むイベントです。チーム構成メンバーの「劇研」さんが中心になって企画し、京都市や当機構も共催しています。左京東部いきいき市民活動センターを会場に、アートイベントや天才アート作品展示、パフォーマンスなどを予定しています。

《アートイベント》

4月29日(土) 13時開場～16時まで

◆《アートグッズや作業所製品の展示即売》

天才アートKYOTO、はあと・フレンズ・

ストア、京都市立白河総合支援学校『パ

ン工房白河』&ミニカフェコーナー

◆14時『ステージパフォーマンス』なづな

学園アフリカダンス&フリーズ他

(15時30分ごろまで)

◆14時30分『トークセッション「アール・

ブリュットとの出会い」

作品や創作風景などを映像で紹介しながら、その魅力について語ります。

水野哲雄(京都府立美術館学芸員)・高

島寛(天才アート)

◆15時15分『ワークショップ「アール・ブ

リュットを体験する」』対象小学生以上

*入場無料・予約不要

《天才アートKYOTO作品展示》

会期Ⅱ 4月29日(土)～5月14日(日)

10時～21時／日曜は17時まで／5月2

日、9日は休館、

天才アート in 東山“花と鳥と動物と” Report

展 覧 会

報 告

会場Ⅱ左京東部いきいき市民活動センター
京都市左京区鹿ヶ谷高岸町3番地の2
交通Ⅱ地下鉄東西線「蹴上駅」徒歩15分
市バス「東天王町」徒歩5分

『天才アート in 東山』
“花と鳥と動物と”を、
東山区総合庁舎1階展示
ホールを会場に2017
年1月14日(土)～同22
日(日)の会期で開催し
ました。東山区は当機構
の四条新道アトリエのあ
る地元でもあり、東山区
役所の後援をいただくこ
とで念願の企画展を開催
できました。

今展では、“花と鳥と
動物と”のテーマに沿っ
て当機構の登録作家36名
の中から、8名の絵画作
品計44点(40号以上の大
型作品5点と四つ切から
A4サイズの画用紙など
の作品39点)を選定し展
示しました。8名の作家
の個性的タッチや作風が
それぞれに際立って、「初
めて見る作画で新鮮」、色彩感の豊かな作品
群の前に「感動した」など、来場者の多く
の方々から高評をいただきました(アンケー
ト集計より)。



なお、来場者総数は9日間で地元の方を
中心に475名あり、内81名の方よりアン
ケート回答をいただきました。ありがとうございます。
また、開催にあたり何かとご協
力いただきました東山区役所をはじめ関係
者の皆様に感謝申し上げます。

地下鉄東西線「市役所前駅」改札口横に 「天才アートギャラリー」 が出現

文化庁京都移転を契機に、市民と京都市
が連携して「私たちができること推進チーム」
を結成され、“みんなごと”のまちづくり推

進事業が展開されています。

この事業の「環」として、京都市営地下鉄東
西線「市役所前駅」改札口横イベントスパー
スを利用して、3月15日(水)～同28日(火)
の期間、「天才アートギャラリー」が開設さ
れました。なお、『いきいき春の文化祭ア
ール・ブリュットとの出会い』と同一事業です。
約六〇平方メートル弱のこのスペースは、
通路側の二面はガラスで、地下鉄駅構内は
ガラスブロックで囲まれています。通常は演
奏などのパフォーマンス会場になったり、通
行人の休息場所として利用されています。
今回はスペース内に天才アート複製画二〇



点の展示と、
通路に面した
ガラス面は特
別に企画制作
した登録作家
のアートポス
ター一〇点を
掲示。
多くの市民
が行き交う
地下街の一角
に突然出現
した天才ア
ートギャラ
リーは、多く
の注目と話題
を集めまし
た。とくにガラスに貼られたアートポスター
には、通行する人たちが足を止めて観覧す
る姿が数多く見られ、好評に終始しました。

京都創生PR事業「京あるき in 東京2017」にて展示

2月4日から約1カ月、都内各所で、京
都の歴史、景観、伝統産業、観光など、多
彩で奥深い京都の魅力を伝えるさまざまな
イベントが開催されました。そのオープニ
ングイベントが、JR東京駅前「KITTE」
を会場に開催され、メインステージで
は、舞子さんの舞、能、生け花、紙芝居、
落語など、伝統文化に親しめる舞台が披露
されました。

メインステージと同じ1階アトリウムを
会場に「天才アートKYOTO展」として、
作品展示とクリアファイルやポストカー
ド、Tシャツ、複製画などの物販を行いま
した。東京での展示、物販は初めてです。
イベントに来られた方から作品について尋
ねられることや、京都で作品展を見たとお
声をかけてくださる方もいて、天才アートの
知名度が少しずつ上がる喜びを感じること
ができました。



トピックス

レポート

きて見て遊んで 就学前から卒業後までを つなぐ『はぐくみ情報展』

『障害者差別解消法』の理念の実現に向けて

2016年12月10日(土)「みやこめっせ」にて、京都市立総合支援学校PTA連絡協議会などの主催による「はぐくみ情報展」が開催されました。

その企画の一つであるセミナーに、講師として富田千果子理事が招待されました。「大切にしたいこと」ライフステージを振り返り、そしてこれからと題して、子育てのエピソードや子どもの幸せ感から考える余暇の創作活動の意義などを、当機構の活動趣旨と合わせてお話しになりました。また、展示コーナーでは、天才アートKYOTOの作品が展示されました。

自閉症セミナー2016

ライフステージを見据えた支援

2016年12月17日(土)「ハートピア京都」にて、京都府自閉症協会などの主催で、「自閉症セミナー2016」ライフステージを見据えた支援」が開催されました。同セミナーは、自閉症の人たちを支援するうえで大切なことを、専門家、当事者、保護

者を講師として、それぞれの立場からの発言を聞くもので、毎年開催されています。

2016年のセミナーで、保護者の立場から「晃生の世界と向き合って」と題して、富田千果子理事が講演。自閉症のわが子の成長や家族のこと、そして、自閉症の障害があるからこそ生かせる能力と可能性があることを、芸術の世界で活躍するアーティストのケースを通して紹介されました。

F M京都「Let's "KYO"」 Together〜今日からはじめる 京からはじまる〜」に出演

F M京都の「Let's "KYO" Together」で、「京都のためのちよつといこと」をテーマに、リスナーにも参加できる京都のまちづくりなどの取り組みが紹介されています。

その番組に天才アートKYOTOを代表して富田千果子理事出演し、当機構の障害のある方の自立と社会参加を目指す障害者芸術の推進活動や事業などを紹介。放送日(1月15日)が「天才アート展 in 東山」花と鳥と動物と。」の開催期間中であつたため、作品展の広報も積極的に行いました。

アーティスト・トピックス

★下嶋千佳さん作品展&ライブ

きょうと障害者文化芸術推進機構「in space co.」主催の『共生の芸術祭』ストッ プ・ラオッチ」展に下嶋千佳さんの作品「ポツ プンテニス」が展示されました。12月の京都



文化博物館を皮切りに、関西学研都市の「けいはんなプラザ」、福知山市の「市民交流プラザふくちやま」と巡回展覧されました。

特に、「けいはんなプラザ」では2月11日(土) 14時より「音楽ライブ」が開催され、今回のために下嶋千佳さん書き下ろしの「共生の芸術祭」テーマソングをはじめ、下嶋さんがこれまで手掛けた作品とともに自身もピアノ共演し、来場者に喝采されました。

彼女は、小学校5年生ごろより音楽活動をはじめ、多数の作曲をしてきましたが、他にも絵画作品やグラフィック映像作品・アニメーション作品の制作、マンガストーリー「ポツプンテニス」シリーズ制作なども手掛け、いずれも高い評価を得ています。

★楠川敦士さん、大阪府現代アートの世界に 輝く新星発掘プロジェクト第6回公募展に入賞

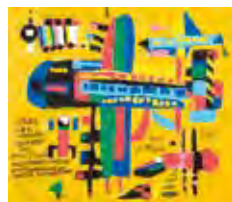
2016年度同公募展に楠川敦士さんの2作品がダブル受賞しました。

応募総数840点で、受賞選定作品は、最優秀賞・優秀賞等9点、佳作13点、入選30点の計52点です。ちなみに、楠川さんの入賞は2014年度の公募展より3年連続で、その豊かな才能と安定した制作力に裏打ちされた結果といえるでしょう。

彼は、幼少期より描き始めて、当初は静物の写生などをしていましたが、10代後半

ごろから、自らのイメージを題材に好んで描くようになり、入賞作品にあるように、必ず文字や数字・記号などが、まるで会話の記録のように画中に描きこまれています。「ストーリー」のある時空と躍動感を画面に与えていて、見る者を飽きさせません。

受賞作品は、2017年2月10日〜同17日、JR大阪駅前にある地下街「ディアモール大阪」多目的ホールで展示されました。



佳作「サーカス」(上)
入選「飛び交う無線交信」(下)

★「土屋彰男展」開催

2月28日(火)〜3月12日(日)の会期で、土屋彰男さんの個展が開催されました。

会場は、大阪府枚方市の「御殿山生涯学習美術センター」で、同センターの招待企画によるものです。土屋さんの数多い作品の中から、母上の選定で50号大の作品5点を含む絵画作品14点と、フェルト作品の1群を展示しました。



全作品に共通する大胆な構図とタッチは、来館者に感動を呼んだことがアンケートから伺えましたが、中でも記事中のギャラリー写真の右手にある4枚の襖絵の「迫力に驚き」を与えたようです。



ヨーロッパ事情

LaMのアル・ブリュットを 視察して

高島寛

LaM（リール・メトロポール／コンテンポラリー／アル・ブリュット・ミュージアム）は、フランスの北東、ベルギーの国境近くのリール市の郊外に在ります。緑豊かで静かな住宅地の真ん中に森や湖のある広大な公園がひろがっています
が、平屋式のこの美術館はその一角に佇んでいます。

昨秋、私がここを訪れたのは、この美術館は世界屈指のアル・ブリュットのコレクションを有し、その展示を誇っているからです。



LaMの外観

もともとは近代・現代美術のミュージアムだったのですが、アラシンヌ財団から3500点以上のアル・ブリュット作品が寄贈されたため、2010年に大規模な増築が行われ、その保管と展示セクションが開設されました。

アラシンヌ財団は、アル・ブリュットの提唱者であるフランスの画家デュビュッフェの作品収集活動に呼応して1982年に設立されました。はじめは《人類の根源であるアート表現》として個人の邸宅内に保管さ

れていました。当時はまだアウトサイダー的なものとされていましたが、1986年にフランスの美術館規定によってアル・ブリュットはやつと公的にもアートとして認知されます。つまりフランスにおいても、つい30年前まではまだアートとして認められていなかったわけです。早速に開催されたこのコレクションの展覧会は成功を博しますが、その10年後自治体の支援を失い、フランスの美術研究所に寄贈され現在にいたっています。

このLaMのアル・ブリュットは現在、170人のクリエイターによる約4000点の公的に認められた作品を有しています。

◎

ピカソ、レジェ、ブラックなどのおなじみのモダンアートやコンテンポラリーアートのセクションを過ぎてアル・ブリュットの展示室に入ると、神秘的で民族的な模様が精緻に隅々まで埋め尽くされ、しかもシメトリに正確に構成された巨大な絵画が目には飛び込んできます。オーギュスタン・ルサージュのこの作品群には幅が5メートルにも及ぶ大作もあつて驚愕します。ほかにはヘン



A・ルサージュの絵画



デュビュッフェの作品



J・スコットのオブジェ

力から生じるこれらの作品の前では、誰しもアル・ブリュットは、普遍的で圧倒的な存在感にたじろいでしまうと思われまふ。

さらに興味深いのは、このアル・ブリュットの前室が、デュビュッフェのセクションになっていることです。彼の初期の作品が一堂に介されていて、アル・ブリュットと密接な関係を見ることができ

きます。

◎

近年、欧米ではアル・ブリュットを現代アートの文脈でとらえることが一般的になってきています。またミュージアムも現代アートのひとつの領域として取り扱うようになりました。ローザンヌ（スイス）にある先駆的なアル・ブリュット・コレクションや前回紹介したウィーン（オーストリア）のグッギング美術館はアル・ブリュットに特化したミュージアムですが、今後は総合的な現代美術館にひろがると考えられます。LaMもその一例ですが、そこにはアル・ブリュットを芸術作品として位置づけ、その作者については特段に関心を寄せず、重視すべきは作品がもつ審美性にほかならないという考えが根底にあります。

ひろがえつてみると日本におけるアル・ブリュットは、一様に「障がい者による造形」という認識が定着してきているようです。欧米と日本の間にアル・ブリュットに対する理解の齟齬は大きく、乖離は広がっているといわざるを得ません。

アル・ブリュットを障がい者福祉の側面からではなく、芸術面からとらえるべきであるという意見もありますが、障がい者の日常的な制作の現場に立つ私たちには、福祉という側面を無視することは到底考えられません。

「障がい者による造形」が即アル・ブリュットであるという理解と認識には、国際的な視点においても問題はないのか、そんな疑問をもった今回の視察でした。

寄稿

「幸せな人生」を見つげるためのミッション 「できること」の積み上げで「好きなこと」を見つげる

高島美代子

●多動性障害

晃平は1歳を過ぎたころから不眠不休で走り回っていました。昼夜めくるめく行動を変えながら動いて、常に命の危険にさらされている強烈な多動です。

1日、2〜3時間寝ればかなり良い方で、どのタイミングで寝るか予測できず、他の家族の健全な生活を守ろうとするほど、母親の私は体内時計を無視した毎日を過ごす必要ありませんでした。

普通には生活できない。

普通ではない。

最悪な体調の中で、だんだんとわが子が障害児であることを認めざるを得ない現実でした。



天才アート展 2016 の会場にて

●自己実現プロデューサー

当時地元八幡市では遊戯療法を採択しており、京都大学心理学研究室の大学院生が箱庭療法などを行っていました。

そこではリラクセスした環境を作り、自然な形で多動を少しずつ生活しやすい行動に変えていく方法を学びました。

療育は就学するまで4年ほど通いましたが、この期間に私は心身共に立ち直って、障害のあるわが子の人生の全責任を受けて立つ覚悟をしました。

私は晃平の自己実現プロデューサーであると思っています。

いろいろな思いや外野との軋轢に打ち勝っていくには、遠い目標、最終目標の設定が必要で、迷った時は原点に帰る、と当時の私は考えました。

目標は「幸せな人生」

晃平の「幸せな人生」は、具体的には「好きなことが自由にできる」としました。ただ走り回る晃平の「好きなこと」はどこにあるのか、「好きなこと」が「自由にできる」ようになる第一歩はまず何なのか。

●集中力を高める作業への置き換え

多動を暮しやすい自然な形に置き換えるにはスポーツが良いでしょう。体を動かすスケジュールと隣り合わせに座れる時間が

生まれまます。座れる時間は短いので大切に使います。

私たち親子は集中力を高め、できるだけ手早く要領良くを心掛けながら、たくさんの課題をしました。たくさんのサンプルの中から好きなことを採択すべきであると考えたからです。

座って行う課題について、当初本人は元より親も辛く、果たして無理にじつとさせるのがこの子にとって良いことなのか、と非常に悩むところでした。

しかしできそうにないことや向いていないように見えることも、親の先入観で可能性が捨てられてはいけなと考え、とりあえずは最後まで諦めずにやってみました。

「好きなこと」をみつけるにはまず、「自由にできることをふやす」。どのようにして楽しく絵を描けるようになったのかを紹介したいと思います。

●楽しく絵を描く基礎となった力

重度障害児ですから当然できないことばかりです。でも多くのことに挑戦し、健常児の何百倍もの練習をしてきました。

例えば、小学校1年で形の認識ができませんでした。手元に△が書いてあつて、ノートに同じものを書きなさいと言っても書けませんでした。

多動でノートを見ていませんし、△を認識しませんし、同じものを書く概念もなく、さらに手先の動かし方も分からないようでした。

写したり手を添えたりを何百回、何千回



何百回、何千回という練習を重ねて書けるようになった漢字

か覚えていませんが練習して、やっと紙に書けました。

しかし今度は離れた黒板が認識できません。距離があるので、直線上の景色や物や人が目に入って黒板まで辿り着かなかった様です。

教室の黒板とノートの間に線を作つて、その間を私が手を引いて行き来して結びつけたり、黒板に接近して書いたノートを線上に少しずつ離して自席に置き、2回目に同じものを自席で書かせたりして遠くの文字を書けるようにしました。

この調子で、小学6年プラス中学3年間は板書を続けました。

理科はビーカーなどの絵が混じつた実験結果やイチョウの葉のスケッチなど、数学では数字を数えて軸に沿ってグラフの作成、英語は板書と発音。

全ての教科の板書が空間把握、立体物の平面表現、小さなノートに書き写す際のバ

ランス感覚などを養ったと推測されます。当然、重度障害児に数字や英語は無意味とか、可哀想とかの批判は根強かったです。パツと見た人が見苦しいという理由だけで、考えもなしに批判しているのだと思われます。

●「自由」に描く

自閉症児にとつて「自由」は極めて難しい概念です。

晃平に関してだけいうと、型決めで生活していると楽しそうに自由に見えますが、純粋な自由は存在しないかもしれません。

しかし、それでは健常者の自由についてはどうなのかという、例えば次の休日どこに出かけても自由ですが、実際には懐具合や体力、家族の予定や翌日の仕事とのバランスなど、数々の制約が掛かっており、純粋な自由は結局は存在しないかもしれません。



せん。

そう考えると、たとえあらかじめ型決めた生活であつても、本人が心底楽しそうで、心が解放されているのであれば「自由」ではないかと思うのですが、いかがでしょうか。

支援者は型決めの外の可能性を常に模索検討しておき、いつでも本人のために変える準備をしておくことで、自由を守りたいと思っています。

●天才アートとの出会い

今現在25歳の晃平を見ていて、「できること」の積み上げで自信に基づいた精神の安定感や集中力を養うことができた満足しています。

そこに満を持してやってきたのが、天才アートとの出会いだったと思っています。天才アートとの出会いは幸運としか言い



「ピグミーマーモセット」(上)と「アカウミガメ」(下)の制作風景



カヤックを楽しむ

ようがありません。

呉竹総合支援学校卒業時、人脈が豊富とお見受けした当時PTA会長の黒川愛子さん(現天才アートKYOTO理事)に「卒業した後に参加できる芸術的・文化的活動の場があればご紹介ください」とお願いしていましたところ、まさに私が思い描いていた理想どおりの会に奇跡的に声を掛けていただいて、創成時から参加させていただいています。

最近言葉での表現が難しい晃平が描く絵に、障害特性ではなく元々持っている素直さ、明るさ、探求心が、力強く表現されるのを見て、もしかして晃平の自己実現プロジェクトは成功したのではないかと密かに喜んでいます。

天才アート関係者の方々に感謝申し上げます。どうか、晃平の「幸せな人生」に向けてお力をお貸しください。今後ともよろしくお願いいたします。

障害者アートミュージアムKYOTO 設立支援基金をスタート!!

天才アートKYOTOでは、文化都市・京都にふさわしい障害者の芸術作品を常設展示するミュージアムを設立し、広く社会に向けた情報発信の中核となる施設とする計画を進めています。このたび、この計画に賛同して支援する「障害者アートミュージアムKYOTO設立支援基金」を募集致します。

一口千円から。3万円以上の寄付をしていただくと、お礼に天才アートKYOTOの作品の複製画(太子サイズ・額装)をプレゼントします。複製画は10作品の中からお選びいただけます。

この複製画のコストの一部は、「著作料」として障害のある作家に還元され、コストを除く残金がミュージアム設立支援基金に充てられます。趣旨にご賛同の上、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

詳細やお申し込みは、ホームページをご覧ください。

<http://tensai-art.kyoto>



宇宙人の宇宙船



スーパー羊II

※複製画の一部です。

広がる作品のデザイン活用

天才アートKYOTOから生み出された作品が、企業とのデザインコラボレーションによって商品化されつつあります。

第一弾は、京都職人

プロジェクト様のスポンジクロス。一昨年に初めて商品化され、新作の動物シリーズも加わってバリエーションが増えました。スポンジクロスは京都国際マンガミュージアムのショップで販売され、海外からのお客さまにおみやげとして好評です。



第二弾は、山田繊維株式会社様の「むす美」ブランドによるふろしき。3月1日〜4日、京都文化博物館別館で開催されたふろしき新作展示会で、天才アートKYOTOの作品を元にデザインされた「アール・ブリュットふろしき」がお披露目されました。当機構の作品のデザインは、50センチメートルのサイズで光沢のある綿素材、パッケージ入り、スカーフやチーフにしても素敵です。

今後開催される作品展では、これらの商品の販売もさせていただきます。作品の商品化によってアーティストの社会参加の可能性が広がり、作品の魅力を皆さんに知っていただくことが大きな励みになっています。



会員・寄付を募集しています

天才アートKYOTOは、障碍のある人のアート制作を推進するために、作品展の開催やデザイン化などさまざまな活動を行っています。その趣旨に賛同していただける会員を募集しています。会員は、「正会員」「賛助会員」「名誉会員」の3種類。

また、寄付金や助成金、障碍者アートミュージアムKYOTO設立支援基金などのお申し込みも随時受け付けています。

詳しくはホームページに掲載しています。お手続きもインターネットで行えますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

<http://tensai-art.kyoto>

【表紙の作品について】

彼の作品は、黒の油性ペン一色であることがほとんどであるが、この作品は珍しく複数の色使いをしている。タイトルについては、描き始めた時点で尋ねると「まだわからない」と返ってくることが多い。描いていく中で次第にイメージとタイトルが固まってくるよう、完成するなりすぐに裏面に目付・サインとともにタイトルを書き込む。そのタイトルを読みあげると、まるで散文詩のような響きを持つて画面に調和するように思える。



『鶏は恐竜の祖先だよ。謹んで食べなさい。宇宙華丸』
前田笑弥 1977年生まれ Wataru MAEDA
画用紙・マジックペン 380x270mm 2017年

会報の広告主募集中！

『会報 天才アート』は、天才アートKYOTOの活動をはじめ、所属作家の作品紹介、アール・ブリュットに関するコラムなどを掲載しています。発行部数は3,500部で、会員・協賛団体、関係機関、各地の美術館、京都市内の大学や主なギャラリー、カフェなどに配布・配架をしています。

当機構の活動にご賛同いただける企業様のご協力を、ぜひともよろしくお願いいたします。

1枠…1万円（4回掲載）

●お問い合わせ・お申し込みは、

info@tensai-art.kyoto まで

Kuretake

〔編集後記〕

平成31年以降に文化庁が京都市へ全面移転することと合わせ、京都府や京都市ではさまざまな取り組み・事業が始まっています。それも府や市レベルにとどまらず、府市民を巻き込んださまざまな動きが活発化しています。

あわせて、京都の玄関口である「京都駅東南部エリア」への京都市立芸術大学の移転（平成35年度）におけるまちづくりには、「文化芸術」という新たな視点が組み込まれています。京都駅周辺エリアが活性化すれば、京都全体の活性化と文化芸術の振興につながっていくことができると考えられているのです。

17年度は天才アートKYOTOもそういった流れに乗り、関連するイベントに積極的に参加するとともに、企画展や天才アート展に加え、数多くの活動を今まで以上に展開していく予定です。そのためには、会員の皆さまやボランティア関係者を始め、支援していただける皆さまのご協力が不可欠となります。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

京都上鳥羽
の
印刷会社

MORIYA
(有) 森田美術印刷

京都市南区上鳥羽火打形町12 ☎ 075-692-3131



吉村建設工業 (株)

京都市中京区西ノ京小倉町135番地
075-802-1360



発展、ともに前へ…
洛和会ヘルスケアシステム®

洛和会丸太町病院 洛和会音羽病院 洛和会音羽記念病院
洛和会音羽リハビリテーション病院 洛和会東寺南病院



季節の味わい、心を包む
京都・東山八坂烏居前下河原
075-551-0035

各種印刷／アニメーション仕上げ
福祉工房 P&P



明治安田生命

京都支社
京都市中京区烏丸通御池上ル二条殿町 552
075-241-4811

画材・額縁
画箋堂
京都・河原町五条

一級建築士事務所
町家・古民家再生 / マンション改修
**(株)共立ホーム
エンジニアリング**
06 (6788) 5402 kap@hyper.ocn.ne.jp

妙心寺 塔頭
養徳院
永代供養のお寺 075-461-2898